

小児歯科開業医の20年

福岡市開業 中尾 哲之

昭和50年代、九州は小児歯科の分野では遅れていました。関東では『九州は小児歯科の砂漠だよ』と言われて悔しい想いをしていたもんです。私が横浜の大学を退職して現在の香椎の地で開業するようになったのもその頃の事です。当時九州では小児歯科の勉強会が殆どありませんでした。そこで福歯大の吉田教授、九大の中田教授、九歯大の木村教授と開業医有志が呼びかけ、九州地区の小児歯科の裾野を広げ、子供をきちんと治療できる臨床医を育てようとのことで九州小児歯科集談会を発足させました。その後集談会は発展し、臨床医の勉強の場となって行きました。

ところが研究や臨床成果などを発表する場は、学会の全国大会しかありませんでした。ちょうど同じ頃学会は全国大会と地方会で年2回開催されるようになり、昭和58年に第1回九州地方会が福歯大のお世話で福岡で開かれました。最初の頃は人数も少なく和気藹々で、学会の後はソフトボールの対抗戦をやって親睦を深めていました。5大学の小児歯科学講座に開業医が混じって遊んでいました。でも開業医は怪我をすると診療に差し支えるとのことで段々減少して行きました。懇親会では各大学の新人医局員が隠し芸を披露して楽しかったものです。その後九州地方会は関東に次ぐ程に大きく発展して、はや20周年を迎えることが出来ました。小児歯科界は厳しい局面になって来ただけではなく、少子化も進んでいます。しかし逆にその役割は大きくなって行くものと信じています。これからも地方会会員全員で盛り上げて行こうではありませんか。

20周年によせて

九州歯科大学小児歯科学講座 西田 郁子

私が初めて日本小児歯科学会九州地方会に参加させていただいたのは、第5回大会からでした。先輩方に連れられ、長崎の地を訪れたのもつい先日のような気がします。その頃は、大会翌日にソフトボール大会があり、懇親会での新人紹介ではかくし芸の披露をしなくてはならず、頭を悩ますことも多かったものですが、今、思えば楽しい一時でした。そして、多くの先生方を知り合える機会が持てました。また、担当校の時の大会では、準備等で大変でしたが、大会を企画・運営するといった貴重な体験もさせていただきました。

私にとって九州地方会は、小児歯科に関する知識を得る場であるとともに、多くの先生方と知り合い、情報交換ができる学会です。諸先輩方が作り上げた素晴らしい学会のさらなる発展と飛躍を祈念しております。